

まずコンセントを差し込み、電源を入れてください。

(この写真のラミネーターは本体とは違うものです)

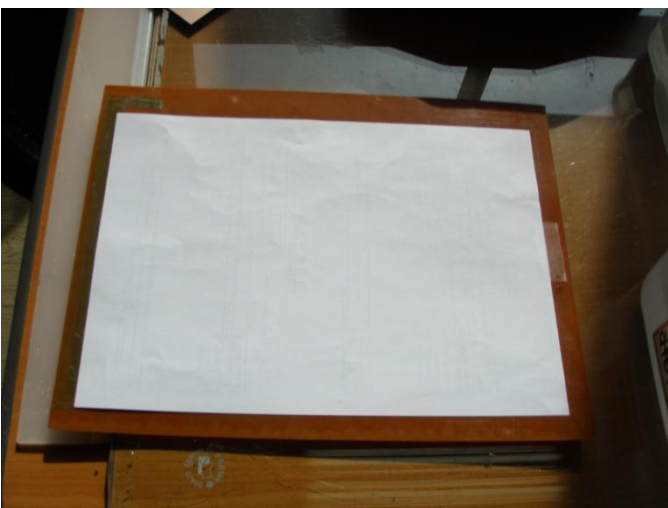


温度 110°C に設定します。

速度は 1 (一番おそいスピード) に設定してください。



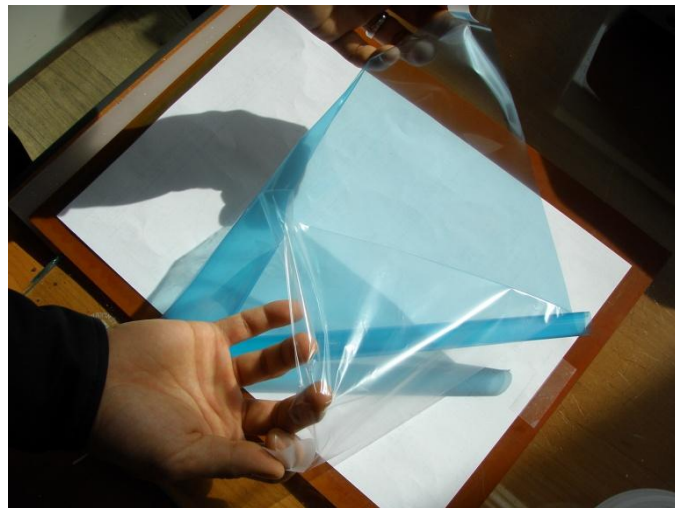
ラミネーターの本体の準備が整う(設定の温度に暖まると)と準備完了を知らせる“ピー”という音になります。



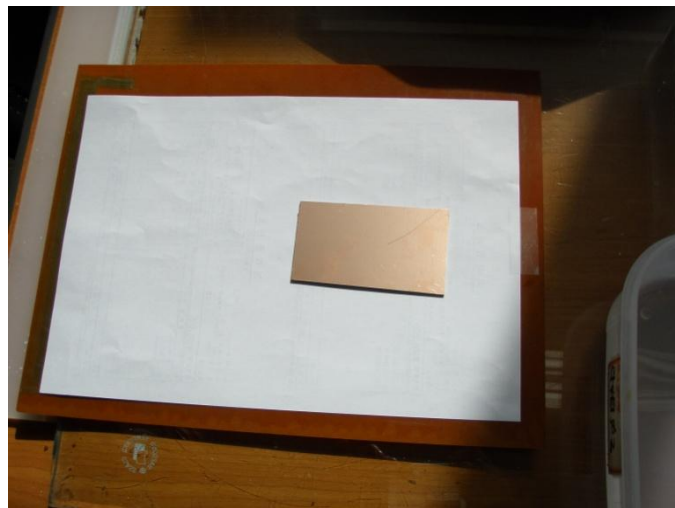
専用の下敷きに基板より大きな用紙(コピー用紙 など)置いて、上部分にセロハンテープを貼って固定させます。



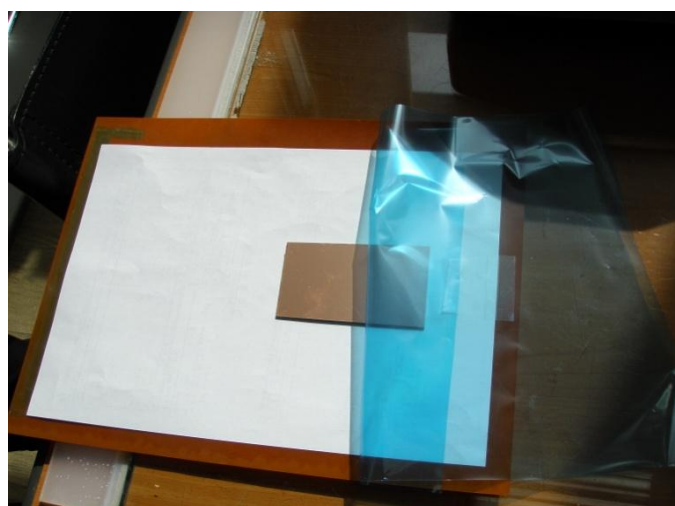
感光用ドライフィルムを基板の大きさ(大きめに)に切って
隅の部分にセロハンテープをついたら



片面の保護フィルムを引き離します。
(感光用ドライフィルムは表・裏がありません。
両面を保護フィルムに挟まれています。)



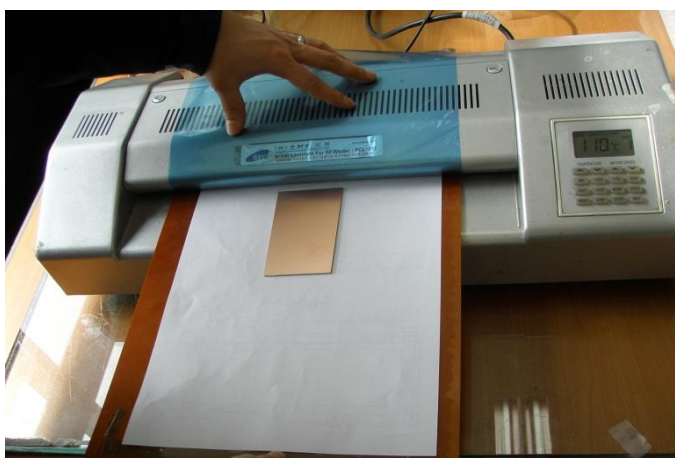
ラミネートする基板を 用紙の先端から 5~6cmの
ところに置きます。



保護フィルムをはがした面を基板にあてるようにして
ドライフィルムの上ををしわのできないように気をつけなが
らテープで固定します。



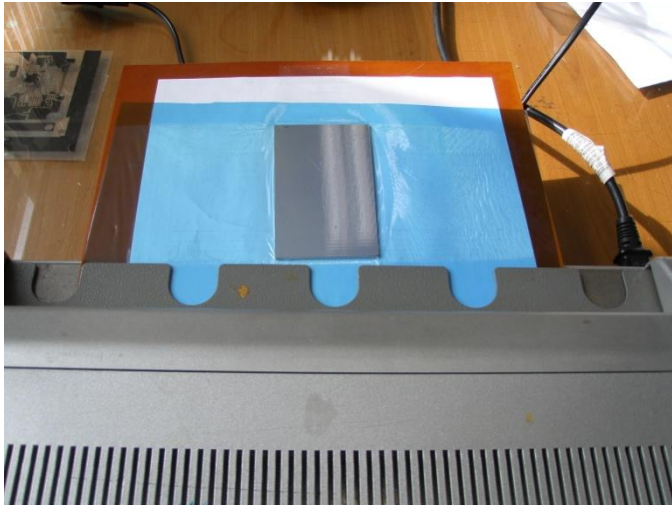
セットした下敷きの先端から ラミネーターの挿入口にゆっくりとあてがうと 全体に進んでいきます。その際ドライフィルムはラミネート本体にかけておきます。



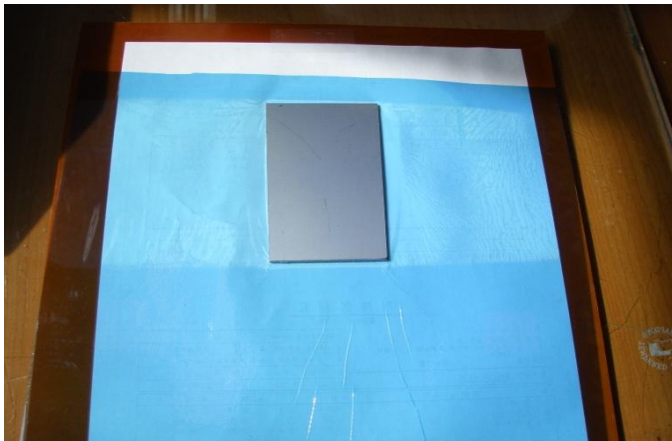
写真のように
両手でフィルムを捉えたり片手でフィルム両端をおさえなら
ラミネートの送る力に任せて ラミネートしていきます。
(速度は 1 に設定します)



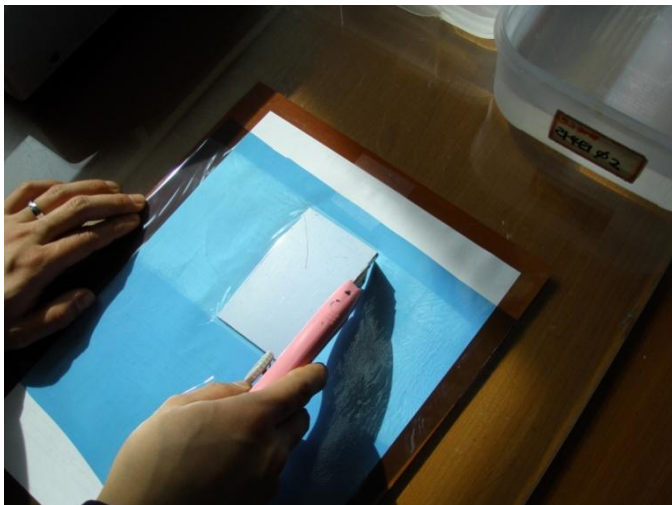
最後までラミネーターの速度に逆らわずに 基板が押し出されるのを待つて下さい。



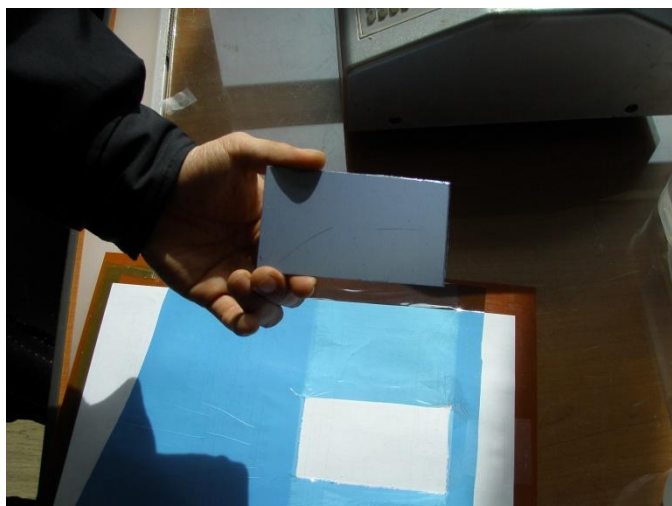
ラミネーターからドライフィルムが貼られて出てくる様子です。



感光膜が塗布されて完全な状態の基板が製作された様子です。



基板の端 4 面をカッターなどできれいに切ります。



完成された感光基板です。

ラミネートをした基板は黒い袋などに入れ光を避けて保管して下さい。